

学校自己点検・自己評価報告書

2024 年度

学校法人 栄戸学園
横浜未来看護専門学校
2025 年 8 月 19 日

1. 学校の運営目標

■運営方針

新型コロナウイルス感染症による制限は緩和され、教育活動においてもコロナ前と同等の内容で実施できるようになった。課外活動や行事、ボランティア活動など継続して、チームワークの育成につなげたい。

2022 年度入学生より定員を 80 名に増員したが、受験者数が減少し合格基準を引き下げた影響で、学力低下や学習意欲の低下した学生がみられ、1 年次で 10 名程度の退学者が出る状況が続いた。また、2024 年度入学生は定員割れとなり、安定した人数の看護師養成ができない状態になりかねない。高校生の生徒数の減少や大学志向により専門学校への志願者数は減少の一途であるが、入学者の質を左右するため、受験者数の増加に努める。

今年度は、新カリキュラムの完成年度であり、ディプロマポリシー（卒業生像）が段階的に到達できているか評価・確認しながらカリキュラム運営を行う必要がある。また、看護学校でのハラスメントが取り上げられており、防止のための体制づくりが求められている。学生－教員、教職員間でお互いを尊重し成長しあえる風土づくりをしていきたい。

2023 年 11 月 28 日に神奈川県 の 指導調査を受けた。おおむね問題はなかったが、学校運営上、実質行われていることが明文化されていない事柄があるなどの指摘があった。学校評価を行いながら体制や規程等の見直しを行う。

■運営目標

【健全経営】

1. 受験者数増加のための学生確保対策の計画・実行（受験倍率 3 倍）
2. 学校運営の評価及び運営規程の整備、見直し
（ハラスメント防止対策、安全管理体制は重点内容）
3. 感染予防を講じつつ、教育活動の活性化と地域交流の促進

【教育の質】

1. ディプロマポリシーを達成できるための段階的な支援
 - ・実習につながるシミュレーション教育
 - ・学力低迷に対する学習支援
 - ・看護師国家試験 100%合格を目指した学習支援計画と実施
2. 生活を重視した切れ目のない 看護が学べる授業(実習)展開
3. 学生個々を尊重した支援とチームワーク育成支援

【人材育成】

1. 職員の資質向上のため研修体制の継続と目標管理の実施
 - ・専任教員のキャリアラダーに沿った教育力の向上
2. 人権侵害防止のための研修

【人材確保】

1. 定員増に伴う専任教員・実習指導教員の確保のための臨床との交流

2. 2024 年度の学校自己評価に関する取り組み

文部科学省策定「専修学校における学校評価ガイドライン（平成 25 年）」、私立専門学校等評価研究機構の「専門学校等評価基準書 Ver. 4.0」、厚生労働省「看護師等養成所自己点検・自己評価指針」から発出されている指針などを参考として、項目ごとの評価の視点、チェック項目、参考資料例と照らし合わせながら、評価を実施している。

なお、従前は教職員のみを対象としてアンケートを実施し、学校自己点検・自己評価を行っていたが、教育活動の見直し、改善を図る上で、在校生からの意見収集も重要であることから、今年度より在校生を対象にアンケートを実施することとした。実習、国家試験対策などの教育活動や学修成果を始め、教育環境や学校生活全般においても意見収集し、改善を図れるように努めていく。

3. 評価項目別の達成および取り組み状況

評価項目の達成状況については、チェック項目や現状から査定し、小項目ごとに評定をつけた。また、項目ごとに現状と課題を表記し、次年度の学校運営に役立てるものとする。

＜評価方法＞ 解答欄にいずれかの数字を記入ください

5…大いに当てはまる

4…ほぼ当てはまる

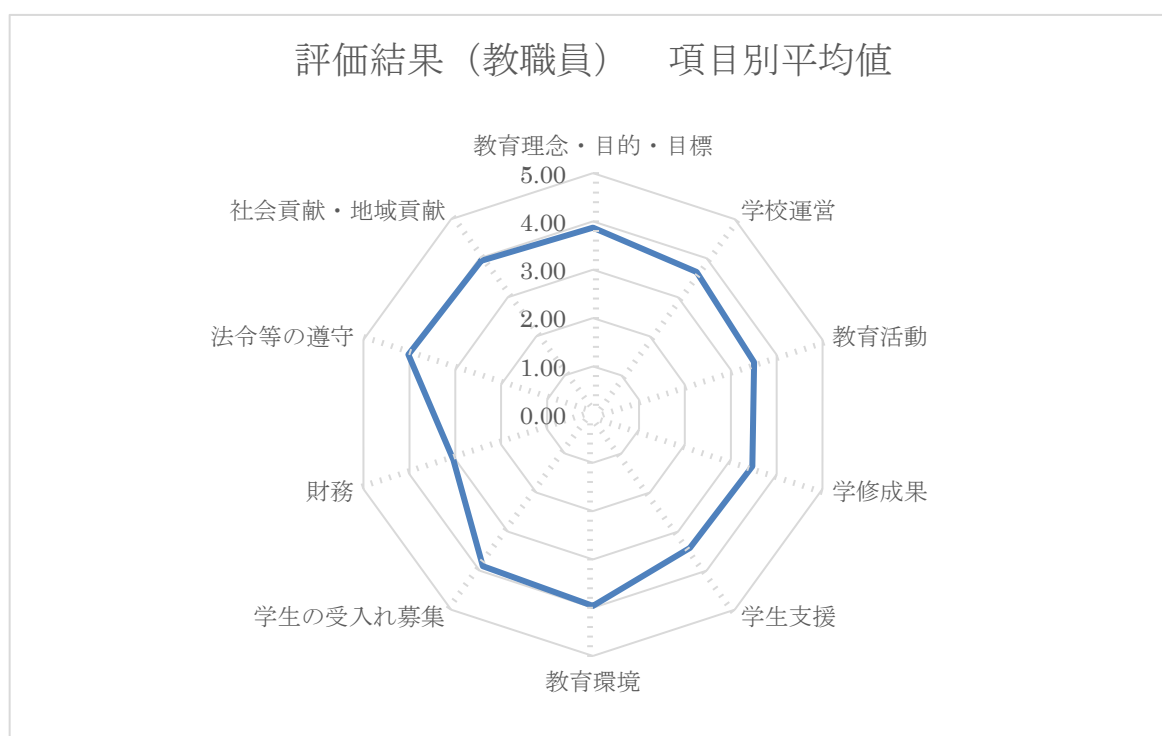
3…どちらとも言えない

2…あまり当てはまらない

1…当てはまらない

4. 評価結果（教職員）

NO	項目	教職員平均
I	教育理念・目的・目標	3.87
II	学校運営	3.65
III	教育活動	3.51
IV	学修成果	3.47
V	学生支援	3.41
VI	教育環境	3.96
VII	学生の受入れ募集	3.88
VIII	財務	3.04
IX	法令等の遵守	4.02
X	社会貢献・地域貢献	3.94
平均		3.68



■現状と課題

【教育理念・目的・目標】

- ・学校の理念、目的、人材育成像は学生に周知されている。
各期のガイダンスにて学生へ周知しているが、一部の学生に届いていない。ホームルーム等を活用して各担任からも継続した周知を行い、教育理念・目的・目標を全学生に浸透させていく。

【学校運営】

- ・教務・事務の業務分掌は整備されている。
ICT推進に向け、今年度より Office 365 A1 ライセンスを導入した。Teams、Forms などのアプリ活用に伴い、学生に対しての連絡方法、事前設定など、教務・事務の業務分掌が曖昧

な部分が存在した。その他の業務においても、一部明確でないものが存在するため、業務内容を洗いだし、適材適所で分担できるように見直していく。

【教育活動】

- ・キャリア教育を行っている。

看護師としての職業イメージができるように指導は概ねできているが、就職後の理想のキャリア像、目標を定め、実現させるための計画や行動指針の設計までには至っていない。将来に渡り、看護師として活躍できるようにキャリアデザインが描けるような指導を行っている。

【学修成果】

- ・卒業生・在校生の社会的評価を把握している。

病院実習の際に、指導担当者より卒業生や在校生の業務に対する取り組みや姿勢などをヒアリングしているが、現状は担当者ごとに聞き取る内容にバラツキが生じている。

ヒアリング内容などに基準を定め、評価いただいた内容を教員間で共有し、実習指導を強化していく。

【学生支援】

- ・保護者との連携体制を構築している。

保護者会の開催や日々の学習状況などを家庭と密に連絡を取り共有しているが、無関心な家庭も多い現実もある。家庭との連携頻度を高め、初期段階から連携することを意識していく。その他、保護者との連携体制の構築を検討していく。

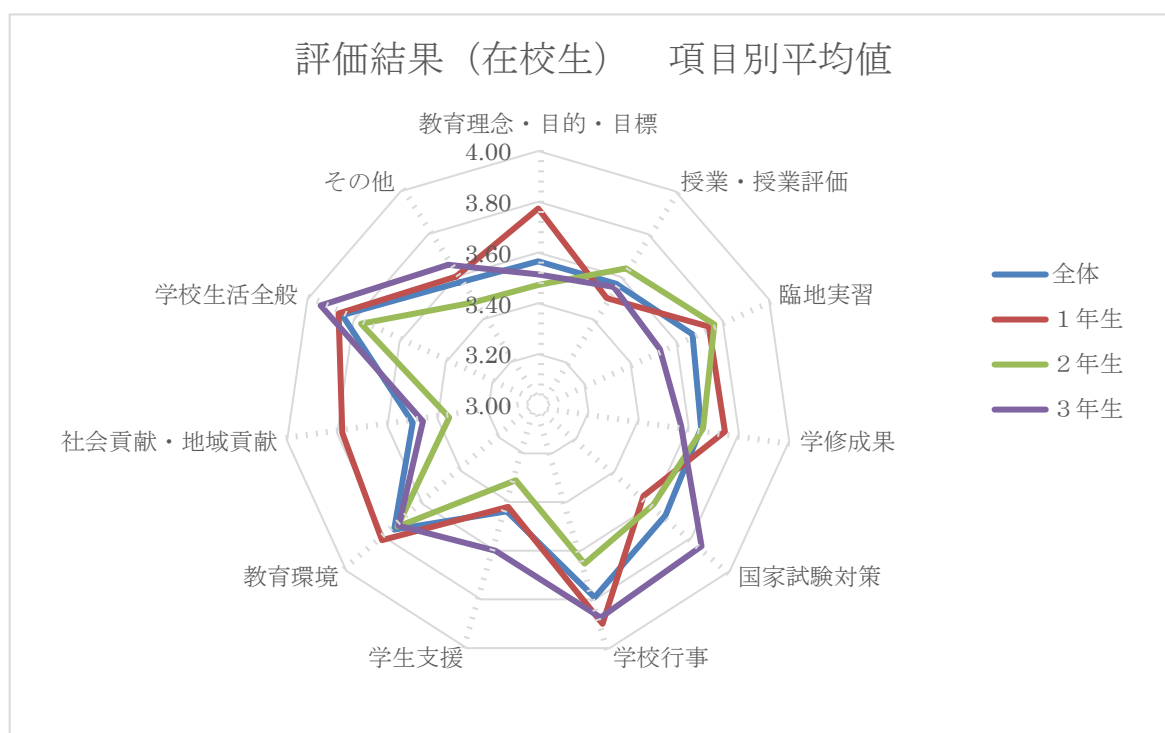
【財務】

- ・収入と支出はバランスがとれている。

入学者数や定員充足率等の推移は把握できているが、退学者や留年者が収入に影響していることのイメージが出来ていない。教育的視点からも、退学者・留年者の抑制は、学校として大きな課題であるため、退学率、留年率低減に向けた対策を今後も研究していく。

5. 評価結果（在校生）

NO	項目	全体	1年生	2年生	3年生
I	教育理念・目的・目標	3.57	3.77	<u>3.47</u>	3.51
II	授業・授業評価	3.57	<u>3.50</u>	3.64	3.55
III	臨地実習	3.67	3.74	3.76	3.53
IV	学修成果	3.65	3.74	3.66	3.57
V	国家試験対策	3.66	3.55	3.60	3.85
VI	学校行事	3.79	3.90	<u>3.65</u>	3.87
VII	学生支援	3.44	<u>3.42</u>	3.31	3.60
VIII	教育環境	3.75	3.82	3.73	3.73
IX	社会貢献・地域貢献	3.50	3.78	<u>3.35</u>	3.46
X	学校生活全般	3.85	3.87	3.77	3.94
XI	その他	3.57	3.60	3.48	3.66
平均		3.64	3.70	<u>3.58</u>	3.66



■現状と課題

【教育理念・目標】

- ・教育理念、教育目標が授業や学校生活に反映されている。

教職員同様に学生も教育理念、教育目標を感じていない結果となった。各期のガイダンスだけでは意識が希薄化してしまうため、継続した取り組みが必要となる。ホームルーム等の活用、また、授業や行事など、日常的に担任、授業担当者から継続した周知を行い、教育理念・目標を全学生に浸透、意識させていく。

【授業・授業評価】

- ・教育課程のシラバスは受講前に確認している。
教育理念、教育目標同様に各期のガイダンスに確認しているが、学習前の取り組みとしてその重要性を理解できていない。この内容についてもホームルームを始め、授業開始前、日常的に担任、授業担当者から継続した動機づけを行い、改善を図っていく。

【学生支援】

- ・学校と保護者との連携体制はある。
学生も学校と保護者（家庭）との連携に不足を感じている。現状として、複雑な家庭環境の学生も存在し、学校側からの連携が難しいケースあった。また、家庭に連絡を取るに当たり、保護者の都合から遅い時間帯の場合もあり、負担が生じている事実もある。将来的には保護者ポータル等のシステム導入も検討していきたい。

【教育環境】

- ・ICTを活用する環境ができている。
ICT推進に向け、今年度より Office 365 A1 ライセンスを導入し、Teams、Forms などのアプリを順次使用している。今年度の結果を踏まえて、更なる活用方法を検討していく。

【社会貢献・地域貢献】

- ・積極的にボランティア活動に参加できた。
基本的な感染予防を講じながら、ハマロード、遊山箱スタンプラリーなどの地域行事には参加することができた。今後は、近隣小学校との教育連携（いのちの授業）や戸塚ふれあい区民まつり、第 29 回夏まつり 2025（新プロムナード矢部自治会）などの地域行事に学生、教職員と共に積極的に参加し、戸塚区の看護学校として地域に根差した活動に取り組んでいく。

6. 総合的な評価結果と課題

2024 年度の課題は、保護者との連携体制の構築である。現状、欠席の多い学生、学業不振、実習が厳しい学生など、問題を抱えている学生に対しては、学校内で状況を把握し、適宜、保護者などに連絡を行っている。しかし、家庭の事情などから、タイムリーに連絡が取れず、連携方法が課題となっている。各学年において、保護者説明会を開催し、ご家庭との学生の情報共有を密に行っていく。また、保護者向けのポータルシステムなどの導入に検討をしていきたい。学生のみならず、保護者等に対しても資格・免許取得のための目標を共有し、3 者（学生・保護者・学校）が一体となった教育ができるよう改善していく。

その他、2024 年度の自己点検・自己評価として得られた課題（評価点が低い）について、次年度以降、計画を立て、各項目の改善を図っていく。